

pT1 通常型膵癌の臨床病理学的解析

1、研究の対象

2010年1月～2023年12月に 当院で通常型膵癌に対し膵切除を施行した患者さん

2、研究目的・方法

・ **研究目的**：膵癌は非常に悪性度が高く、たとえ根治術が行われてもその長期成績はいまだ満足できるものではありません。通常、膵癌はその診断の難しさから進行期で発見されることが多いですが、近年診断能の向上とともに早期診断される症例も増えてきています。しかし、診断契機や周術期因子、実際の再発形式を含む術後成績など、その臨床病理学的特徴は十分に解析されていません。今回は当院で膵癌に対し膵切除を施行した症例を解析し、pT1 膵癌の臨床病理学特徴を明らかにし、膵癌の術後成績向上に寄与する因子を模索することを目的としています。

・ **研究方法**：カルテレビューをしてデータ収集を行います。

・ **研究期間**：臨床研究倫理審査委員会承認日（病院長許可日）～2027年3月31日

3、研究に用いる試料・情報の種類

・ **疾患情報**：術前因子（年齢、性別、診断経緯、切除可能性、腫瘍マーカー、術前治療）、術中因子（術式、手術時間、術中出血量、輸血）、術後因子（合併症、SSI、在院期間、術後治療）、病理学的因子（組織型、腫瘍径、脈管侵襲、病期、R 因子）および長期成績、再発部位等についてカルテからのデータのみを用います。（試料はありません）

4、個人情報取り扱い

症例登録には登録症例の氏名、診療録 ID 等は使用せず、被験者の秘密保護に十分配慮いたします。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにします。

試料・情報の管理について責任を有する者：外科 消化器外科部長 伊禮 俊充

5、お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、すでに学会や論文等で公表されている場合は撤回が困難であることはどうぞご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：浦添市前田 1-56-1 電話：098-878-0231（代表）

浦添総合病院

研究責任者：外科 消化器外科部長 伊禮 俊充